



宗四小だより

10月号

目指す学校像『笑顔・感動いっぱい 虹色に輝く みんなの学校』

志木市立宗岡第四小学校
志木市上宗岡1-1-2
048-473-5250

<http://www.mune4syo.ed.jp/>

児童数596名 令和5年10月2日発行

食育の秋

校長 佐野 隆之

「取り組むには最適ですよ。いかがですか。」という意味も込めて、この時季には、「〇〇の秋」という言葉を使うことがあります。「読書の秋」「スポーツの秋」「芸術の秋」などのように…。過ごしやすいこの時季を満喫しましょうという先人の思いや、四季のある日本のすばらしさを改めて感じます。(残念ながら昨今は、季節を錯覚するくらいの異常気象が続いてしまっていますが…。)

私がまず思い浮かべる「〇〇の秋」は…、やっぱり「食欲の秋」でしょうか。10月の給食カレンダーを見るとその思いがさらに強くなります。ちなみに…、明日、3日は、絵本『お団子スープ』からの献立(秋のガーリックピラフとお団子スープ) 6日は、「さんまをかつこよく食べよう」の日(さんまの塩焼き・大根おろし 他) 11日は、『6年生陸上大会がんばれ給食』(かつ丼とみそけんちん汁) 27日は、『運動会がんばれ給食』(人気メニューのカレーライスとフルーツポンチ) 他にも、くりごはんやドラキュラスープ(ハロウィンメニュー)など、毎日楽しみです。

給食の回数は一年間で約180回です。つまり、子ども達は、一年のお昼ごはんのうちの半分を学校給食で過ごしていることになります。

誰もが経験してきた学校給食ですが、大人になるとその味をなつかしく感じる方が多いようです。保護者のみなさんも、給食の献立表をご覧になって、食べてみたいなあと思ったことはありませんか。

以前、情報番組でなつかしい給食献立を提供している食堂が紹介されていました。「揚げパン」や「フルーツポンチ」のように大人になると食べる機会が減ってしまうものや、「鯨の竜田揚げ」のように世代間で食べたことの「ある・ない」が分かれるもの、地域によって特徴的な献立などが紹介されていました。ちなみに…静岡県出身の私は、毎週1回「ミカンジュース給食」というものがありました。

あたり前のように毎日食べている給食も、世代や地域の違いを超えて、振り返った時には大切な思い出の一つになりそうです。そんなふうに考えると、「食欲の秋」も大切に思えてきます。

さて、最近の学校給食は、単に栄養を補給するだけでなく、食を通して多様な学びができるような工夫が求められています。以前から家庭で進めてきた「食育」が、学校教育の中でも重視されてきた証です。本校でも、栄養士を中心に、今後も「食に関する力を育てていく」取組を進めていきます。ご家庭でも、「食欲の秋」ならぬ「食育の秋」を満喫してください。旬の食材や季節メニューに親子でチャレンジするのもよいかもかもしれません。

宗岡第四小学校では、栄養士や調理員を中心に、これからも安心安全でおいしい給食を提供してまいります。みんなで、「食育の秋」を満喫します。